



令和4年度 ライフジャケット推進事業報告

香川大学教育学部

石川 雄一

令和の日本型学校体育構築支援事業

令和4年度概算要求額 303,360千円
 (前年度予算額 213,360千円)



背景・課題

学校における体育活動は、体力向上、健康増進、競争心や協調性、他者を尊重する精神の涵養、人間関係の形成など、生涯にわたる豊かな生活を実現するための基礎が培われるものである。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により様々な活動が制限される中、子供たちが運動やスポーツに親しむことができるようにするためには、体育の授業において運動の多様な楽しみ方を共有し、運動が苦手な子供をはじめ全ての子供に、できる喜びを味わわせていくことが求められる。

「令和の日本型学校体育」は、社会構造の変化や感染症・災害等をも乗り越え、子供たちの安全・安心を確保し、技能差・体力差・体格差等に配慮ながら、個々の能力に適した指導・支援を行うことで、全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現する体育の授業改善を図る。

事業内容

上記の課題に対応した授業研究を行い、その研究成果を全国に発信する。

①GIGAスクール環境下における体育活動の充実

体育における個別最適な学びを充実するために、一人一台端末を活用した授業モデルを研究する「ICT体育推進校」を指定し、実践研究を行う。また、児童生徒の主体的な体育学習を支援するために、授業内外で個々に閲覧・活用できる指導コンテンツを作成する。

【件数・単価】10自治体×約300万円、2団体×約1000万円

②インクルーシブ体育活動の充実

通常学級に所属する障害児の体育見学ゼロを目指し、通常学級の体育授業において障害のある児童生徒が共に学べる学習プログラムの開発を行うとともに、障害児のスポーツ・運動機会を確保するため、個に応じた指導計画・指導内容・指導方法の工夫に関する実践研究を行う。

【件数・単価】10自治体×約300万円

③多様な武道等指導の充実及び支援体制の強化

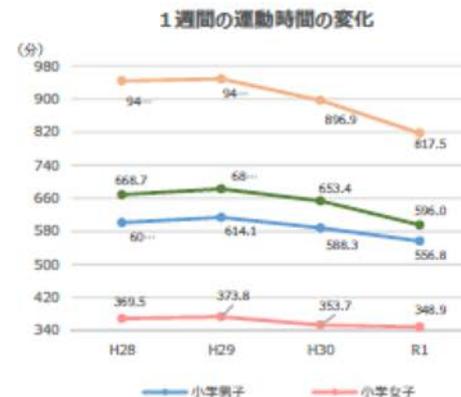
外部指導者の活用や年間指導計画の工夫などにより、我が国の伝統文化である多様な武道種目を学習する保健体育の授業を行う中学校を「武道推進モデル校」に指定した実践研究を行うとともに、武道関係団体による中学校における多様な武道種目の実践の支援体制を強化するための取組等を実施する。

【件数・単価】35自治体×約430万円、9団体×約470万円

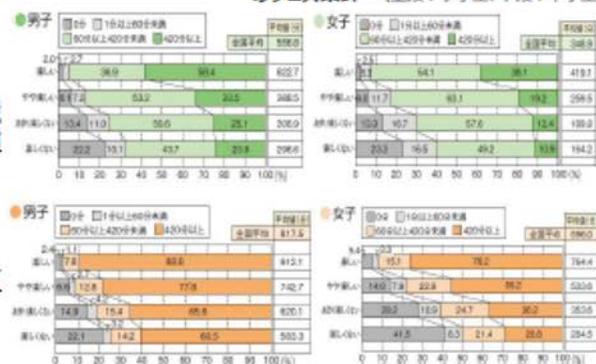
④体育活動中の事故防止

全国的な体育活動中における事故防止の意識啓発、関係の取組の充実を図ることを目的として、近年発生した全国的な重大な事故事例の発生の背景や要因、再発防止のための方策について把握・分析を行い、最新の知見の成果等を情報共有し、研究協議等を行う協議会を開催する。また、命に直結する水難事故防止対策を強化する観点から、水泳授業における自己保全のための学習（着衣泳・ライフジャケットの活用など）の指導モデルの研究を行う。

【件数・単価】1団体×約1800万円、5自治体×約200万円



体育の授業は楽しいか×1週間の総運動時間のクロス集計 (上段：小学生、下段：中学生)



(出典) 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

別添1

④ 体育活動中の事故防止

全国的な体育活動中における事故防止の意識啓発、関係の取り組みの充実を図ることを目的として、近年発生した全国的な重大な事故事例の発生の背景や要因、再発防止のための方策について把握・分析を行い、最新の知見の成果等を情報共有し、研究協議等を行う協議会を開催する。また、命に直結する水難事故防止対策を強化する観点から、水泳授業における事故保全のための学習（着衣泳・ライフジャケットの活用など）の指導モデルの研究を行う。

香川県教育委員会の事業申請1件のみ

令和4年度の取り組み

- ① **学校における水難事故防止対策強化事業**
- ② ライフジャケットレンタルステーション
- ③ ライフジャケット親子体験教室

②ライフジャケットレンタルステーション

令和3年度ライフジャケット レンタルステーション貸出実績

校種	貸出校数
幼稚園・こども園	2園
小学校	3校
中学校	1校
子ども会等団体	4団体

寄贈枚数が**50**着
毎週1校が貸出の限界

貸出物品	貸出数量	延べ貸出数量
ライフジャケット子ども用 Mサイズ(85~125cm)	100	437
ライフジャケット子ども用 Lサイズ(125~155cm)	100	454
ライフジャケット大人用(フリーサイズ)	40	114

(合計1005着)

校種	貸出校数
幼稚園・こども園	5園
小学校	12校
中学校・高等学校	各1校(2校)
子ども会等団体	12団体

- ・体育水泳授業での使用
- ・野外活動、総合的な学習の時間等での活用
- ・安全教室等のイベントで使用

③ライフジャケット親子体験教室

参加者：県内の親子 6組 12名

指導者：香川県B&G財団連絡協議会

香川県教育委員会

第1回
**ライフジャケット
親子体験教室** 開催

日時 6月11日(土)
10:00~12:00

対象 小学生とその保護者
20組(40名) ※先着順

会場 香川県総合水泳プール
屋内25mプール
(高松市御蔵町1585-1)

会員 無料

右記より
お申込み
ください

QR
コード

URL
5月23日(月)から受付開始
※先着20組とさせていただきます。
申し込みされた方は曜日、メールにて
当日の内容についてお知らせします。

【親子体験会館会社先】
香川県教育委員会事務局 保健体育課
TEL 087-832-3764
E-mail hv3150@pref.kagawa.lg.jp



水に対して恐怖心があり、保護者の腕にずっとしがみついていた児童が、一人で水に浮く体験が初めてできました。最後はライフジャケットを装着した状態で、浮島からプールに飛び込んでいました。



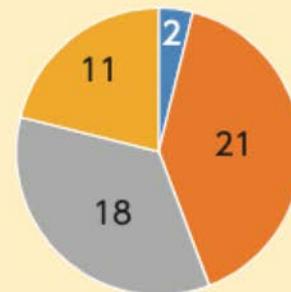
令和4年8月2日に予定していた教員研修
子どもがときめく授業づくり研修会(水泳運動系における安全確保につながる運動)は
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となりました。

①学校における水難事故防止対策強化事業

令和4年度研究推進校(11校)

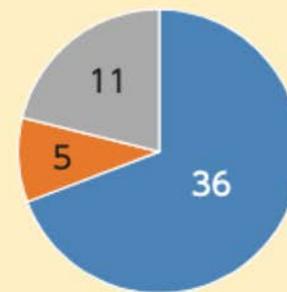
研究推進校の先生(52名)に事前アンケートを行いました。

水泳の指導は得意ですか。



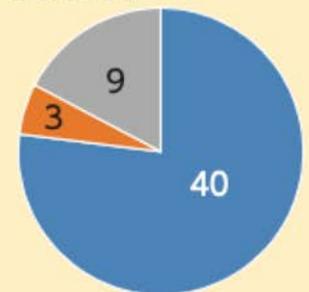
■はい
■どちらかといえばはい
■どちらかといえばいいえ
■いいえ

「着衣泳」の自分の指導に不安を感じますか。



■はい
■いいえ
■どちらでもない

「ライフジャケット」の自分の指導に不安を感じますか。



■はい
■いいえ
■どちらでもない

※ ほかに、自分自身が着衣泳を経験したことがないと回答した教員が44%、ライフジャケットを着用して水の中に入ったことがないと回答した教員が29%でした。

水難事故防止対策強化事業

【事業内容】

研究対象校	香川県内の小学校
研究対象内容	着衣のまま水に落ちた場合の対処の仕方やライフジャケットの活用の仕方など、水泳授業における自己保全のための学習の指導内容や指導方法等の工夫について
研究校数	3~5校程度

【講師について】

- ・ 香川大学教育学部 教授
- ・ 高松海上保安部 職員
- ・ 香川県B&G財団連絡協議会 指導員 等

5/31現在

県内13校から申請が上がっている
延時間数 約36時間

ライフジャケットを活用した授業ってどんな授業？

⇒ 実践では3つの授業の流れを行いました。

時間	授業1	授業2	授業3
0	授業開始	授業開始 (着衣のまま)	授業開始
15	1. 理論的学習 「人間の体は浮くのか？」 2. 背浮きや浮き沈み	1. 着衣での水の抵抗体験 2. 背浮き 3. ペットボトルを使っ ての背浮き	1. バディシステムの確認 2. 背浮き 3. ペットボトルを使っ ての背浮き
30	3. ライフジャケットを 着用して浮いてみる 4. ライフジャケットを 着用して進んでみる	4. ライフジャケットを使っ て浮く	4. ライフジャケットを使っ て浮く (救助を待つ) ① 1人で ② 複数人で
45	授業終了	授業終了	授業終了



体の2%は水面から上がってこ
ることを、講師の先生が実践
した。



ペットボトルがあるだけで浮
くことができることを実感
した。



1人で救助を待つ方法、複数
人で救助を待つ方法を学
んだ。

石川の実践について

高松市立弦打小学校 6月22日 講義
(5年生・6年生) 7月11日 実技

高松市立香西小学校 7月13日 実技
(5年生・6年生) 7月14日 実技



水辺の事故を防ごう！

香川県教育委員会

ライフジャケット推進事業研究推進委員会

香川大学教育学部 石川 雄一

2022/06/22
高松市立弦打小学校

「水」

ヒトの体重の約60%は水分
体重35~40キロ>水分21~24キロ





プール



川遊び

楽しい水遊び場



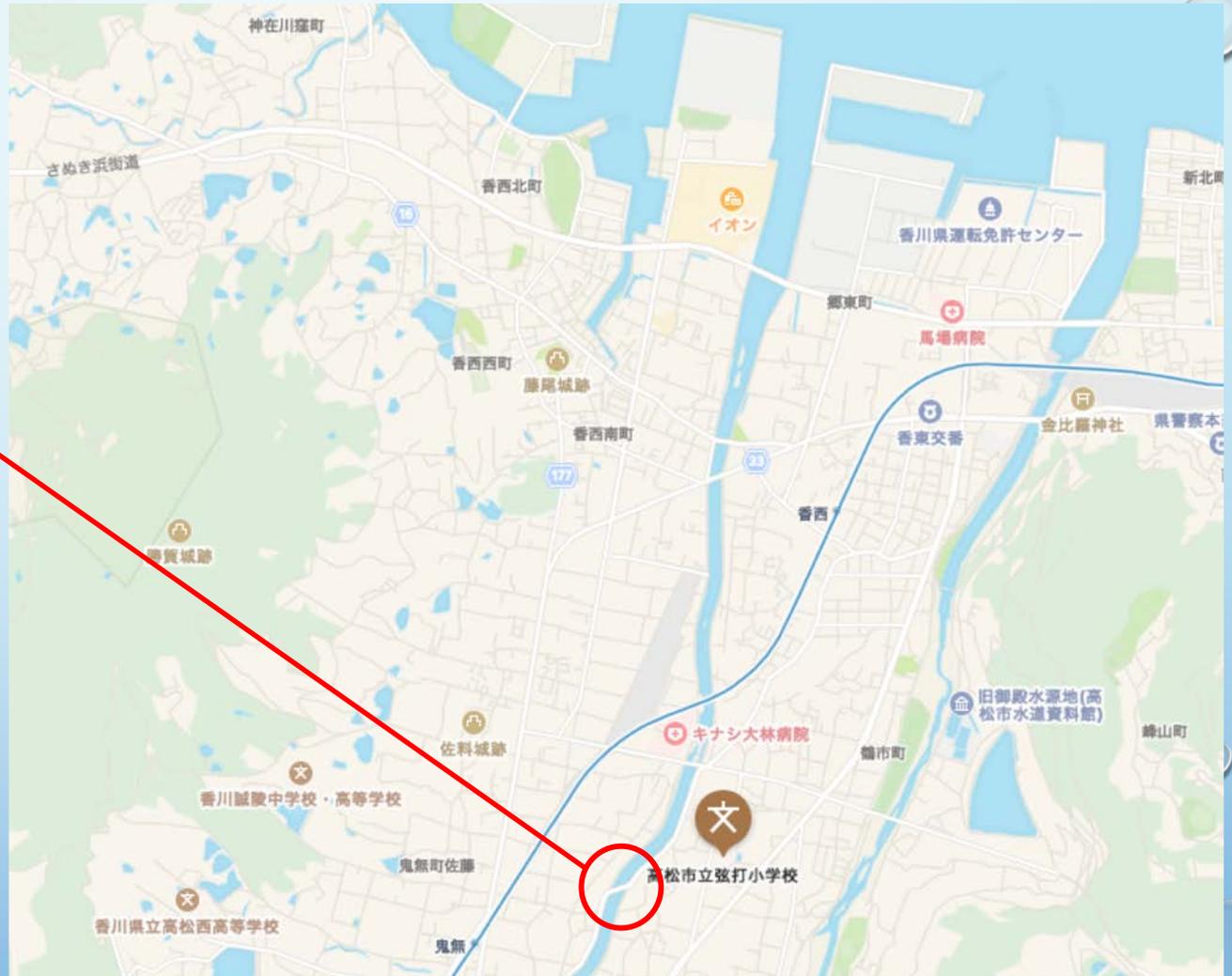
海水浴

毎年たくさんの人たちが水難事故で命を落としています！

水辺の事故はどんなところで
発生してるかな？



学校の近くには川(本津川・香東川)、海、ため池



ため池の様子

危ない所はどこかな？



防波堤の様子

危ない所はどこかな？



ため池の様子

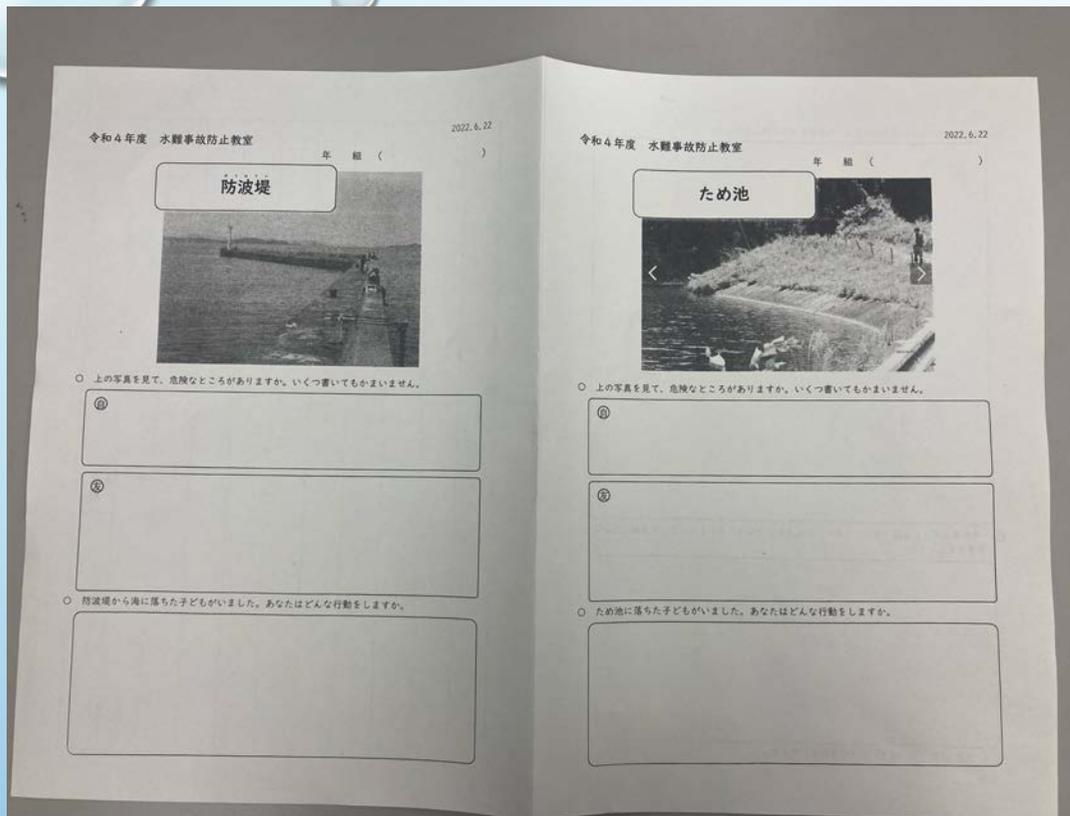
池に落ちた子どもがいました
あなたならどんな行動をしますか？



防波堤の様子

海に落ちた子どもがいました
あなたならどんな行動をしますか？





ワークシート



グループワーク



意見発表

ため池



防波堤



ため池にはぜったい「行かない」「近づかない」「遊ばない」
防波堤の釣りは必ず「ライフジャケット」を着よう！
泳ぎが得意でも水に入って助けには行かない！

弦打小学校実技編

人は浮ける？



ライフジャケットの前に浮身



ライフジャケット体験







研究推進校の実践から

- ライフジャケットを活用した授業を取り入れた単元デザインの例
⇒ 実践では3つのパターンに分かれました。

時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10



単元のはじめ

- ・ ライフジャケット等で浮く体験は水への恐怖心を和らげてくれました。
- ・ 水辺の安全について、一緒に考える機会をつくったので、その後の水泳授業に生かすことができました。

単元の中ごろ

- ・ ライフジャケット等で浮き沈みしながらタイミングよく呼吸することを再認識できたので、単元の後半のゆったりと長く泳ぐ活動につながりました。

単元のおわり

- ・ 夏休み前の授業で実施しました。児童からは「水辺に遊びに行く時はライフジャケットが必要だ」との声がたくさんあがりました。

子どもたち（1002名）の声を聞きました。

ライフジャケットは必要だと思いますか。



- ・ 初めてライフジャケットを着けて水の中に入りました。何もしなくても勝手に浮いてくる感じがとても楽しかったです。
- ・ 股下のベルトを着けていないと、ライフジャケットが脱げてしまうことを初めて知りました。
- ・ ライフジャケットを外すと浮きにくかったです。ライフジャケットなしでも浮けるようになりたいです。

